



## 5月武田社長定例記者会見概要

5月27日午後3時30分から、武田社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

### <編成関連>

4月から現在までの視聴率は、全日5位、G帯4位、P帯3位という状況だ。バラエティでは、勢いのある番組が増えた。放送開始から一年が経った、水曜日の『生き物にサンキュー』が4月になって10%を超える放送回が続いている。火曜日の『マツコの知らない世界』や木曜日の『モニタリング』も好調を維持、4月に始まった『この差って何ですか？』『世にもふしぎなランキング なんて？なんて？なんて？』は数字が安定するまで、もう少し時間が必要だと思う。毎日放送(MBS)が制作する日曜日の『林先生の初耳学』は二桁定着まであと一歩のところまで来た。

ベルト番組では、『あさチャン！』『ビビット』『ゴゴスマ』の視聴率アップに向け、引き続き努力する。『あさチャン！』は昨日5%が出ており、いろいろと工夫している。

ドラマでは日曜劇場『天皇の料理番』が平均で13%を超え、TBSらしいドラマとの評価をいただいている。ほかのドラマはあと一ヶ月、視聴率を伸ばすべく頑張っていきたい。7月クールドラマでは日曜劇場で『ナポレオンの村』を放送する。唐沢寿明さん主演で、限界集落といわれた村を再建する男の爽快な物語をお届けしたいと思っている。火曜日は外資系一流ホテルで奮闘する女性を描いた『ホテルコンシェルジュ』で、主演はモデルとしても歌手としても第一線で活躍中の西内まりやさん、TBSの連ドラでの初の主演となる。

### <営業関連>

4月のタイムセールスは、ネットタイムの単発ではマスターズ、ボクシング井岡戦、高山戦(ダブルタイトル戦)、侍プロ野球が貢献したが、レギュラーセールスが苦戦したこともあり、前年実績には届かなかった。ローカルタイムは、レギュラーセールス、単発セールスともに前年実績を上回ったが、タイム売上全体では前年実績を若干下回った。スポットセールスは、4月が微増、5月はほぼ前年並みとなる見込みだ。今後は、8月の『世界陸上北京』のセールスに力を注ぐ。

## <事業関連>

5月1日に公開した映画「ビリギャル」が、昨日まで興収19億6,000万円、動員160万人(5月26日現在)の大ヒットとなった。この映画を見た中高生から火がつき、口コミやSNSなどを通じて、評判が広がったと見ている。主人公の少女と一緒に親も成長していくという物語で、現在、中高生だけでなく、受験生を持つ母親世代の方も大勢劇場に来ていただいております、ロングヒット作品になりつつある。

舞台「TAKE FIVE」が、5月21日に無事東京公演を終えた。Kis-My-Ft2の藤ヶ谷太輔さんと、元宝塚トップスター蘭寿とむさんという強力タッグのおかげで、チケットの申し込みが100万通を超える即日完売の人気となった。演出、技術、美術の全てにTBSの総力を結集した舞台と自負しており、今後もこのようなチャレンジを行いたいと思っている。大阪では明日28日から31日まで公演予定だ。

夏サカスは、今年で3回目となる夏の食イベント「TBSデリシャカス2015」を実施する。番組コンテンツと連動したBBQや飲食ブース、キッチンカーはもちろん、屋台や移動ワゴンも登場する。また、赤坂ギャラリーでは、番組ごとに出演者とバーチャル記念撮影ができる「なりきり写真館」を展開する。7月17日(金)にプレオープンし、翌18日(土)から8月30日(日)まで開催する。大人から子どもまでTBSの夏休みを満喫していただけるイベントになっているので、是非家族でお越しいただければと思う。

## <ラジオ関連> TBSR&C 入江社長

4月首都圏個人聴取率調査の結果、TBSラジオは連続首位記録を83期、13年10ヶ月に伸ばした。しかしグロスレーティングは0.1ポイント下げて1.0%、全局セッツインユースも過去最低で、低落傾向に歯止めがかからない状況。年度内のワイドFM(FM補完放送)開始に期待するとともに、受信機普及とプロモーションに尽力する。

2014年度の決算は、放送外収入が前年に届かず減収となったが、事業費のコストコントロールが奏功し増益という結果を残すことができた。2015年度は、収入面は前年を若干下回り、利益面でもワイドFM開始のコスト負担があることから前年を1億程度下回る見込み。4月のタイムは前年実績を上回り、スポットも生CMやレスポンス型長尺CM等が堅調ながら、先行きは不透明である。

以上